中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会 総量削減専門委員会(第７回)の開催について

2025 年 11 月 7 日に、中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会総量削減専門委員会（第７回）が行われました。第１０次水質総量削減の在り方について（専門委員会報告案）が公開され、その内容について話し合いが行われました。

水質総量削減制度は、人口、産業の集中等により汚濁が著しい広域的な閉鎖性海域の水質汚濁を防止するための制度であり、1978 年に水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法の 改正により導入されました。

総量削減基本方針策定時の各削減目標量と各目標年度における発生負荷量の実績値を比較すると、第 6 次までにおいては、削減実績値は計画どおり目標を達成しています。第 7 次及び第 8 次においては、一部の指定水域において、りんの削減実績値が人口増加の影響等により削減目標量にわずかに届かなかったものの、概ね計画どおり目標を達成したものと考えられます。第 9 次においては、2024 年度の削減目標量と 2023 年度の発生負荷量の実績値を比較したところ、目標に向けて着実に取組が実施されており、いずれの指定水域及び指定項目についても、2023 年度時点で目標を達成しています。

環境省では、これまでに各海域において広域総合水質調査等による水質や水生生物等の水環境の調査、陸域からの汚濁負荷量の調査等の継続的なモニタリング調査、藻場・干潟の分布状況の調査、底質・底生生物の調査を実施するとともに、気候変動による影響の検討等を行ってきました。また、各媒体を通じて水環境に関するデータや取組の状況についての情報発信や、環境改善の取組推進のための手引きの作成・普及を行っています。

当社では河川や排水の分析について実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社排水分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください。

資料 2025 年 10 月 24 日付 環境省報道発表資料

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

製品中 PFAS 分析について、規制される項目が増えています。
有機フッ素化合物（PFAS）は、国内外で規制の強化が進んでいます。これまでの PFOS、PFOA に加え、PFHxS や PFOA 関連物質が化審法に追加され、POPs 条約においては、長鎖のペルフルオロカルボン酸（炭素数 9～21 のもの）などの追加が検討される予定です。

お問合せはこちら